

松戸市立図書館施設整備に関する提言

—松戸市図書館整備計画の実現に向けて—

平成28年3月30日

松戸市図書館整備計画審議会

はじめに

平成 26 年、松戸市の図書館に関し、図書館のあり方や役割及び機能、また、施設の規模や構成及び設備などについて調査審議することを目的に松戸市図書館整備計画審議会が設置されました。

平成 26 年度は、松戸市図書館整備計画審議会において、松戸市の図書館行政の現状と課題の分析やあるべき図書館像などの議論が行われ、平成 27 年 5 月、今後の松戸市の目指す図書館像を示す「松戸市図書館整備計画」が策定されました。

今年度は、その「松戸市図書館整備計画」を実現するために必要な、より具体的な中央館等の機能や施設整備のあり方を議論してまいりました。

その結果、事例研究など 5 回の審議会の議論を経て、このたび「松戸市立図書館施設整備に関する提言」を取りまとめました。

当審議会の提言を踏まえ、松戸市立図書館が松戸市のシンボルとなる新しい時代の図書館として整備されることを期待します。

目次

1	提言に関する基本的考え方	1
2	実現すべき機能	3
3	機能相関図	6
4	施設概要	8
5	参考資料	10

1 提言に関する基本的考え方

これからの図書館は、従来のような貸出中心のサービスにとどまらず、変化の激しい時代に、図書館の持つ社会的役割を見直して個人の自立を助け、地域のコミュニティを支える、まちづくりを担う図書館にならなければなりません。

これまで行ってきた知識や情報の提供と、その活用支援の更なる充実を図りながら、学びを通じた人々のつながりにより、様々な人々の経験や知識が新しい知恵に生まれ変わるような場となることが求められます

この提言書は、松戸市立図書館整備計画で示した「6つの目指す図書館像」の具体的な実現にあたり、今後、新たな図書館整備を進めるうえで必要な図書館機能や施設整備について提言するものです。

※ 6つの目指す図書館像（『松戸市図書館整備計画』32 ページ）

(1) 「知」と出会い 人と人をつなぐ図書館

(2) 「暮らし」や「仕事」に役立つ図書館

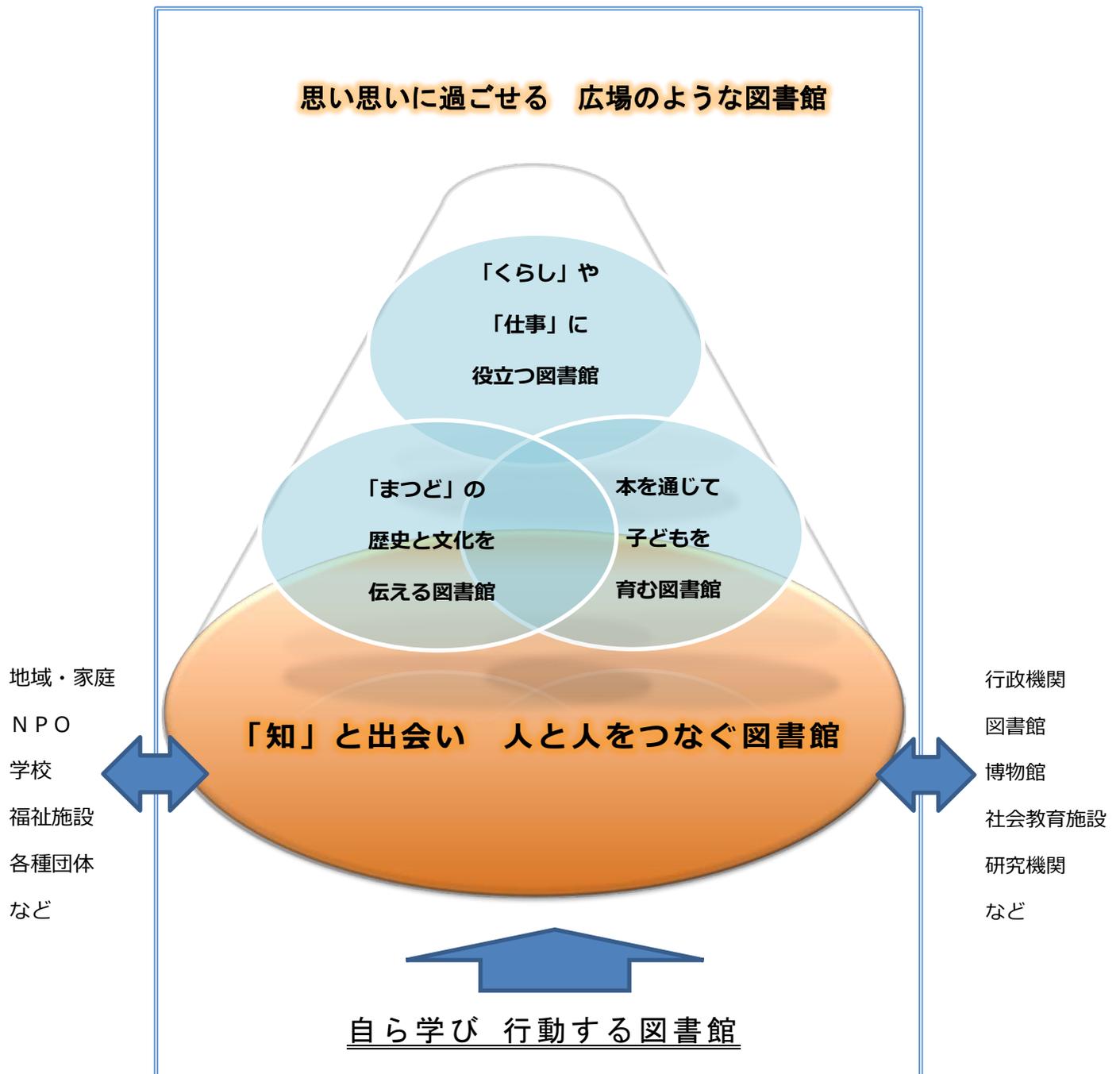
(3) 「まつど」の歴史と文化を伝える図書館

(4) 本を通じて 子どもを育む図書館

(5) 思い思いに過ごせる 広場のような図書館

(6) 自ら学び 行動する図書館

※新しい松戸市立図書館像（『松戸市図書館整備計画』36 ページ）



2 実現すべき機能 (6 ページ「3 機能相関図-図1」参照)

(1) 市民活動・生涯学習支援機能

これからの図書館の機能で特に重要なものは、市民活動・生涯学習支援機能です。市民の知的な創造活動を支援し、市民の持っている技能やノウハウ、経験や知識・情報を図書館が受皿となり地域に還元できるようにするとともに、市民同士のサポートが相乗効果を生むような場の運営を考えることが重要です。

また、様々な活動に ICT 機器などを利用できる環境の整備や学校などが団体に学習活動に利用できる場の整備も必要です。

(2) 情報資源提供・活用支援機能

多様な市民の知的活動をサポートするためには、図書資料だけでなくオンラインデータベースやインターネットが活用でき、PC の貸出や無線 LAN の環境が整備され、落ち着いて調査の相談ができる環境が必要です。

また、ビジネスなどに役立つ専門的な資料を整備し、各分野の奥行きを確保するためには中央館としては 100 万冊以上（開架では 30 万冊以上）が必要です。

(3) 交流支援機能

市民活動や生涯学習を支援するためには、学びを通じた交流のしくみづくりが必要です。そのため、世代を問わず様々な市民が互いに学び、自由に議論や対話できる空間や場を整備することや、部屋の中だけの交流を考えるのではなく、オープンなスペース等を活かして自然に交流できるプログラムや人的サポートを用意することが求められます。

また、今まで図書館を利用しなかった方が利用するようなしくみを考える

ことが重要であり、若者世代が集まる音楽練習室や食育や子育て関連施設等の多様な空間の整備も期待されます。

(4) ネットワーク機能

今後、様々な図書館機能を充実させるためには、他の機関との連携が不可欠です。図書館が積極的に外部と関係をつくり、専門機関や地域や学校とのネットワークの構築を図ることが求められます。

また、松戸市の大きな財産である分館のネットワークを有効活用するためレファレンスなど相談体制の強化や業務の見直しを行い、「分散型」から「アメーバ型」へ、一体的に中央館機能を地域でも提供できる仕組みが必要です。

(7 ページ 図2 参照)

特に中央館の機能を補完するものとして、地域の中核となる地域館が重要となり、地域活動の支援や交流機能の充実を図ることが求められます。

また、分館についても、機能の充実が求められるところであり、施設の改修の機会を捉えるなど、常に利用者の利便性や活用の幅を広げられるようにしていく必要があります。

(5) 保存機能

地域の発展のために、未来につながる資料を適切に保存することは図書館の重要な機能です。そのため、将来的にも十分な保存スペースを確保するとともに、本の利用に適した書庫や保存を中心とした書庫など複数の形態の書庫が必要です。

(6) リフレッシュ機能

様々な目的を持つ来館者にとって図書館は、ホスピタリティに満ちた空間であることが大切です。

特にこれからの図書館は、調査研究等の利用者が家族連れなどグループでの利用も、安心して心地よく、くつろぎ滞在できる環境を整備することが必要です。そのため、様々な人がくつろげるカフェ等のリフレッシュ施設も必要です。

(7) 管理・運営機能

図書館を適切に管理し、図書館サービス全体を掌るには、効率的な空間が必要です。そのため、作業の導線やスペースの適切な配置などを十分考慮しなければなりません。

また、市民の視点に立った図書館運営には、図書館サポーターなどボランティア組織との協働も欠かせません。

(1) から (7) に掲げた図書館機能の実現には、運営に携わる職員の資質の向上や専門職体制の確立が不可欠です。そのため、計画的な人材育成や継続的に専門職である司書を適正に配置する必要があります。

また、施設の全般については、誰もが気がねなく集まれる公共施設としてユニバーサルなデザインであることが求められ、様々な利用者の使い方に応じた空間づくりや、本がある楽しみが感じられる空間をつくることも市民が親しめる図書館になると考えます。さらに、来館の利便性に配慮して駐車場や駐輪場の十分な確保や交通機関等のインフラ環境の整備が望まれます。

新たな図書館整備には、市民の視点に立った計画づくりを行い、将来のまちの姿を描いて図書館の機能を考えることや、都市計画的な視点で図書館が街の中でどのような位置づけになるかを考えることが重要です。

3 機能相関図

図 - 1

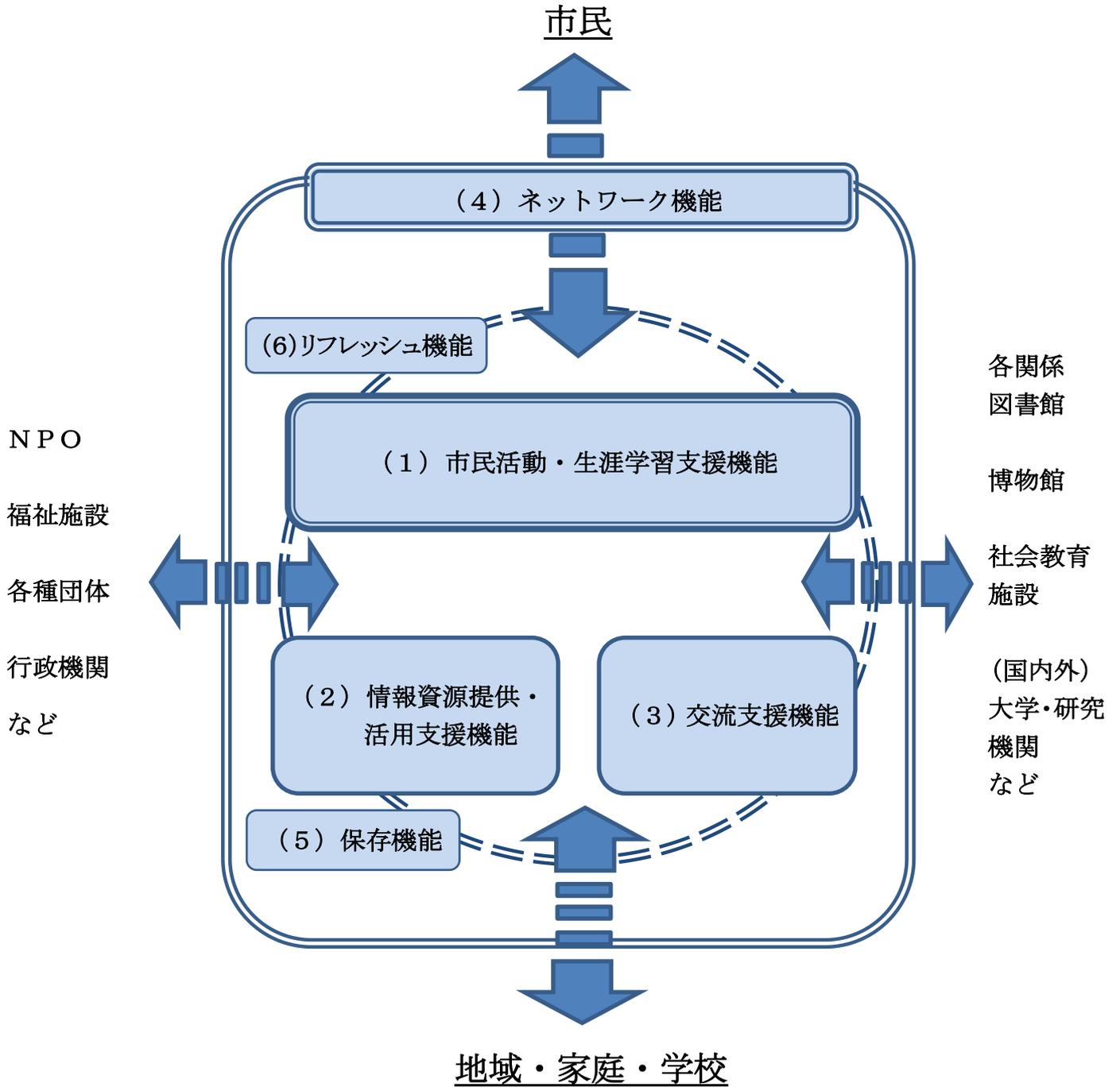
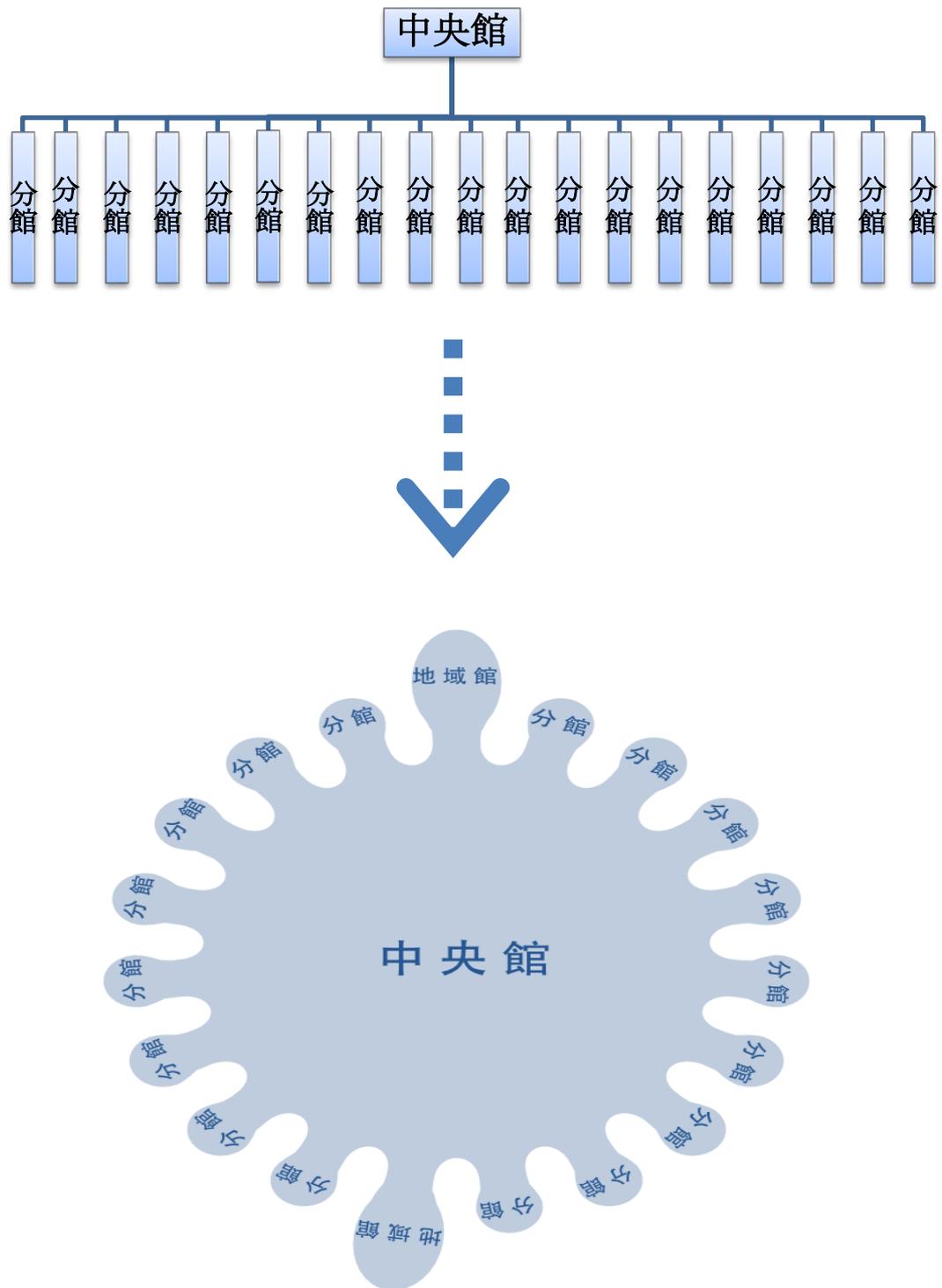


図 - 2

従来の「分散型」図書館から「アメーバ型」図書館へ（中央館機能の一体的運用）



4 施設概要

		施設空間	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
			市民活動・ 生涯学習支援機能	情報資源提供・ 活用支援機能	交流支援機能	ネットワーク機能	保存機能	リフレッシュ機能	管理・運営機能
中央館	全体	ラーニングcommons	○	○	○	○			
		プレゼンテーションスペース	○	○	○	○			
		メーカースペース	○	○	○	○			
		オンライン学習スペース	○	○		○			
		グループ学習室	○		○	○			
		研究個室	○			○			
		ボランティア活動室	○		○	○			
		市民活動・展示スペース	○		○	○			
		総合カウンター	○	○		○			
		貸出返却カウンター							○
	カフェ・売店			○			○		
	オープン	一般	<ul style="list-style-type: none"> ●レファレンスエリア 〔参考図書、専門図書〕 〔専門雑誌、新聞、刊行物〕 ●書架エリア 〔一般図書〕 〔ビジネス支援資料〕 〔医療、健康資料〕 〔多文化サービス資料〕 〔行政資料、郷土資料〕 〔大活字本、点字図書〕 〔録音図書、DAISY 図書〕 〔視聴覚資料〕 〔新聞、雑誌〕 ●情報探索エリア 〔インターネット〕 〔データベース〕 	○	○		○		
対面朗読室			○	○					

			施設空間	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
				市民活動・生涯学習支援機能	情報資源提供・活用支援機能	交流支援機能	ネットワーク機能	保存機能	リフレッシュ機能	管理・運営機能
中央館	オープン	児童	●レファレンスエリア 〔参考図書〕 〔雑誌、新聞〕 ●書架エリア 〔児童書図書〕 〔ヤングアダルト〕	○	○		○			
			調べ学習スペース	○	○		○			
			読み聞かせスペース	○		○				
			授乳室、子どもトイレ							○
	クローズ	その他	事務室、選書作業室 資料整備室、電算室				○	○		○
			学校連携室				○			
			ボランティア連携室	○		○	○			
			学習室	○						
			多目的ホール	○		○	○			
			会議室	○		○	○			
開架書庫、閉架書庫、集密書庫					○		○			
地域館		書架エリア 情報探索エリア 交流エリア	○	○	○	○				
分館		書架エリア	○	○		○				

※1 ここでの「オープン」とは室として完全に閉じていない機能の空間を示す。

2 ここでの「クローズ」とは室として閉鎖空間であることを示す。

5 参考資料

(1) 松戸市図書館整備計画審議会の開催状況

平成 26 年度

	開催日	主な内容
第 1 回	平成 26 年 6 月 6 日(金)	(1)図書館整備計画策定について (2)松戸市立図書館の概要・現状について (3)平成 26 年度図書館整備計画審議会の予定について
視察	平成 26 年 7 月 10 日(木)	図書館本館、子ども読書推進センター、新松戸分館、常盤平分館、八柱分館、和名ヶ谷分館、県立西部図書館
第 2 回	平成 26 年 8 月 7 日(木)	(1)松戸市立図書館の視察について(報告) (2)松戸市立図書館の現状課題について (3)提言書について(基本方針等)
第 3 回	平成 26 年 10 月 16 日(木)	(1)図書館シンポジウムの開催について (2)短期的な提言(新年度予算要求に向け)について (3)提言について(基本方針等)
第 4 回	平成 26 年 11 月 20 日(木)	(1)図書館シンポジウムについて(報告) (2)提言について(基本方針等)
第 5 回	平成 27 年 1 月 21 日(水)	(1)図書館整備計画(案)について

平成 27 年度

	開催日	主な内容
第 1 回	平成 27 年 5 月 1 日(金)	(1)図書館整備計画(案)に係る パブリックコメントの報告について (2)その他
第 2 回	平成 27 年 8 月 26 日(水)	(1)シンポジウムについて(報告) (2)平成 27 年度松戸市図書館整備計画審議会の予定について (3)松戸市図書館整備計画の実現に向けて (4)その他
第 3 回	平成 27 年 10 月 19 日(月)	(1)「人口 40 万人都市の図書館における比較について」 (2)その他
第 4 回	平成 27 年 11 月 9 日(月)	(1)提言書について (2)その他
第 5 回	平成 28 年 1 月 29 日(金)	(1)「松戸市図書館施設整備に係わる提言(案)」について (2)その他
第 6 回	平成 28 年 2 月 13 日(土)	(1)「松戸市図書館施設整備に係わる提言(案)」について (2)その他

(2) 松戸市図書館整備計画審議会委員名簿

区 分	氏 名	役 職
学識経験を有する者	常世田 良 (会長)	立命館大学教授
学識経験を有する者	大串 夏身 (副会長)	昭和女子大学特任教授
学識経験を有する者	柳澤 潤	東京工業大学連携准教授
社会教育関係者	森 めぐみ	松戸市社会教育委員
社会教育関係者	澤谷 奈緒美	松戸市社会教育委員 (松戸市立松ヶ丘小学校校長)
本市の職員	鈴木 三津代	松戸市教育委員会 生涯学習部長

任期：平成 26 年 6 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日まで